

第100回暁木一水会例会の報告

記念すべき第100回暁木一水会例会が、平成19年2月7日（水）18時から湊川神社内の楠公会館で100名という多数の出席を頂き盛大に開催されました。

はじめに、松下代表幹事から25年間という長きにわたり一水会を運営、また支援して頂いた先輩の方々に感謝するとともに、第101回からは暁木会全体の活動とし、今後はさらに若い会員が参加しやすい会にしていきたいとの挨拶がありました。

記念の講演会では、神戸大学都市安全研究センターの沖村孝教授より、「これからの土木」をテーマに約1時間にわたり貴重なお話を頂きました。現在、大学で行われている講義の内容、行政機関の組織の現状、公共事業の談合問題など現在の土木が抱える課題についての説明のほか、人口減少社会、公共投資の減少の中では新たな土木の価値観の構築が必要であり、



沖村先生の講演



松下代表幹事挨拶

これからの土木にとって①快適な都市・地域を創造する、②地球や地域の環境を保全する、③市民の安全を守る、④インフラストラクチャーの維持管理を行うことが役割であり、そのために機能設計から性能設計への転換、維持管理（運営）の重視、ライフサイクルコストの導入等が重要であることを強調されました。

最後に、従来の土木工学を包含した幅広い内容を持つ学科として平成19年度より市民工学科が設立されることが紹介されました。

講演会のあと、これまで暁木一水会を支えて頂いた大先輩で当日ご出席された笹山幸俊氏、宮崎三郎氏、山本潤吾氏、柳田保男氏、実安正氏の5名に記念品が贈呈されました。

その後の懇親会では、学年、職種を超え意見交換が活発になされました。おわりに年代ごとに集合し記念撮影を行い、和やかな雰囲気の中で例会を終了しました。



笹山幸俊氏挨拶



記念写真①



記念写真②



記念写真③

これからの暁木一水会例会について

暁木一水会は、神戸大学工学部土木工学教室と卒業生、および卒業生間の交流を通して相互の啓発と親睦を図るとともに、母校と卒業生の発展に資することを目的に昭和57年2月に設立され、これまで講演会、見学会等を実施してきました。お陰様を持ちまして2月7日、記念の第100回を開催することが出来ました。

これからの例会については、暁木会会員の多数の参加を頂きたいと考えており、平成19年5月9日に予定している第101回例会より、暁木会全体の活動とすることにしています。つきましては、暁木会会員の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

1. 開催日 原則2月、5月、8月、11月の第1水曜日。
ただし、5月の例会はゴールデンウィークを外して開催します。

平成19年度の予定

回数	年月日	講 演	講 師
101	H19. 5. 9	公共団体から主要施策の説明	未 定
102	H19. 8. 1	講演会	一般の講師
103	H19.11.7	見学会	
104	H20. 2. 6	講演会	母校の先生

2. 場 所 楠公会館（湊川神社内） TEL 078-371-0005
 3. 会 費 4,000円
 4. 案 内 各回、開催日の20日程度前に暁木会ホームページの Topics のところに掲載します。

ホームページアドレス <http://www.gyoubokukai.jp>

なお、暁木一水会の会員の皆様には、これまで通り、E-mail または往復葉書でご案内します。